

## 地名由来

### 早川田(さがわだ)...

この地の地形から付いた地名である。「さが」は逆流、「わだ」は屈曲した地形を意味する。昔、このあたりの渡良瀬川は**屈曲**がはげしく、そのため、**逆流**による被害が少なくない場所だったので、この地名がついたと考えられる。

### 傍示塚(ほうじつか)...

「傍示」とは領地の境目を示すために、くいや石を立てること。「塚」は土を盛って高くしたところ。昔この場所は、足利と佐野の境目に位置していたようである。地名の歴史は古く、1450年に書かれた古文書に「ほうじつか」が使われていた。

### 足次(あしつぎ)...

江戸時代の初め頃(1660年代)、今の足次町の南側に矢場川が屈曲して流れていた。そのため、荷物を運ぶための大きな船が入れず、脚継(あしつぎ)船という小さな船が行き来していた。この「脚継」が「足次」に変わったものと考えられる。

### 小新田...

大新田よりも古い時代(鎌倉時代1306年)に存在していた集落ということで、「古新田」ではないかと考えられる。

### 大新田...

1790年に、農民の移住が認められてできた集落。江戸時代に新たに開発された農村には「新田」という地名がよくつくので、その一例でしょう。

### 岡野...

この地の地形から付いた地名である。「岡」は台地を意味し、「野」は台地の上のゆるい起伏のある平らな土地を意味する。



これが岡野の台地